

鶴岡第2地方合同庁舎

～ 城下町・鶴岡の「人」と「歴史」と「文化」をつなぐ ～

【東北地方整備局 営繕部】

【設計概要】

■街並みと調和したデザイン

周辺住宅に配慮して建物の高さを抑えるとともに、外壁面のデザインに変化を持たせ圧迫感を抑えるなど、周辺景観と調和のとれた外観としています。

■「山の眺望」を意識させ、伝統意匠を継承

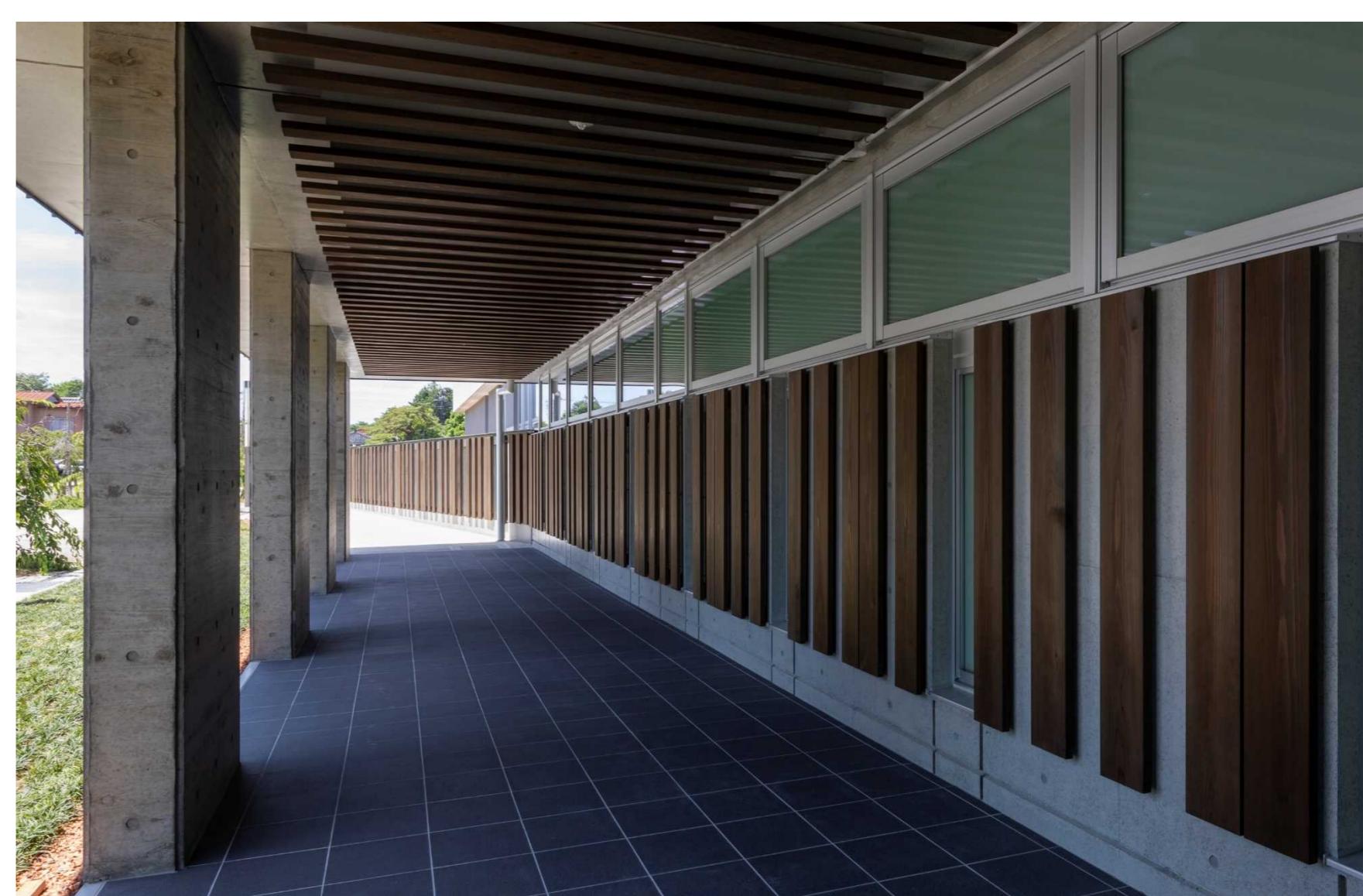
鶴岡市民が大切にしてきた「山の眺望」に配慮して、「金峯山」「母狩山」「月山」を望むことができる2階南東に共用会議室を設置しています。また、外部の囲障には、現在も鶴岡の街並みに見られる「大和張り」による縦格子をモチーフとした板塀を設け、城下町の伝統形式や意匠を現代的に継承しています。

■「通り土間」によるオープンスペースの創出と地域貢献

近隣に所在する国指定重要文化財の旧風間家住宅「丙申堂」に見られる「通り土間」をモチーフとした廊下状の土間空間をオープンスペースとして設けています。その一角から市民の方々などが自由に利用できる休憩スペースや多目的トイレなどを設けた「ほっとスペース」を設置して居心地のよい空間を創出しています。



[庁舎南側外観]



[通り土間、板塀]



[ほっとスペース]

構造：鉄筋コンクリート造 地上3階建て

延べ面積：3,490m²

完成年度：令和4年度

入居官署：鶴岡税務署

山形地方検察庁鶴岡支部・鶴岡区検察庁

鶴岡公共職業安定所

鶴岡市（防災倉庫）